

Weekly Report



会長：佐藤久雄 幹事：高木義男 RI会長：ステファニーA.アーチック 第2580地区ガバナー：石川彌八郎

本日の例会

12月12日(木)12:30~13:30
クラブ協議会
年次総会

次回の例会

12月19日(木)
例会 17:30~18:00
夜間家族例会 18:00~20:10

12月5日 例会報告

司会 小泉会員
開会点鐘 榊原副会長
ロータリーソング
ソングリーダー 石川会員

☆会員総数 33名
☆出席規定適用者数 27名
★本日の出席者総数 26名
★免除者出席数 5名
★本日の出席率 81.25%

☆ゲスト
澤部 利蔵様 卓話者/東京本郷ロータリークラブ
楊 夢様 米山奨学生
☆ビジター
小林 健太郎様 東京本郷ロータリークラブ



東京本郷RC 小林健太郎様・澤部利蔵様 地区大会のご案内

【名著を読む】 杉田玄白『蘭学事始』

玄白の蘭学草創期の頃の回顧録である。小塚原で、前野良沢らと刑死人の腑分け(解剖)に立ち会い、西洋の解剖書『ターヘル・アナトミア』の正確さに驚愕し、正確な医学知識の普及を願い『解体新書』を翻訳した。その訳述の過程で味わった苦心談などを綴った。(小泉博明)

会長報告

- 佐藤会長は退院されましたが、もう1週間ほど休養が必要とのことで、本日お休みです。代わって、副会長が開会宣言と点鐘を行います。
- 米山功労者
第14回メジャードナー宮代昌三会員

幹事報告

- 東京青梅ロータリークラブ2024年12月より例会会場変更のお知らせ。(ホワイトボードに掲示有)
- 12月の第1週に年次総会を開くのがこれまでの通例かと思いますが、次週12日に延期させていただきます。次年度役員・理事の公示が11月14日でしたので、細則の記載に従い約1か月後の12月12日とさせていただきます。
- 例会の食事のステーキコースは来年年始の例会迄とし、以後原則として8・9月に予行練習いただいた簡食にします。会員減少に伴う予算不足に因る措置ですのでご協力をお願いします。



12月お誕生日 石川宜司会員・小林征夫会員・高木義男会員・榊原一久会員

授業内容 「道徳」「国語」「総合的な学習の時間」
○ 読んでみよう!
「学校名乗り」「水戸黄門」
豊島の民話「鬼子母神」「とげぬき地蔵」郷土学習
○ 体験してみよう!
○ 聴いてみよう!
『猿飛佐助』
『村越茂助左七文字の由来』

「日本の伝統文化」「言語活動」「道徳教育」三位一体

- 費は、補填等の対応を要する
印刷費は公共イメージを考慮しつつ大幅な削減策検討
- ・会員増強のため10万円の予算計上
- 3) クラブ協議会
 - ・会員増強はフォーラムの計画を考慮し委員長と相談する(他は別紙のとおり)
 - 4) 長期在籍表彰の記念品について
 - ・前年度同様に、都度審議とする。

第1回職業奉仕・青少年奉仕委員会 合同ホームミーティング開催

日時：2024年11月14日(木)18:00~20:00
会場：ホテルメトロポリタン池袋2F「花むさし」
参加：稲川 一・加古博昭・細田新子
特別参加：佐藤久雄会長 計4名

参加者4名と少なかったが、会員増強には、地域・地元貢献の事業により現会員がクラブに入っ
て良かった!と実感できる事業、地域に喜ばれる社会貢献事業の拡大が必要である。ロータリーク
ラブ内事業と共に両輪の輪となるべき。

また、来年3月開催のこども音楽フェスティバルへの協力で一致した。

文責：細田新子

小学校第5学年及び第6学年
C(17) 我が国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、
国や郷土を愛する心をもつこと。
C(18) 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚
をもって国際親善に努めること。
我が国や郷土の伝統を継承することは、長い歴史を通じて培われ、
受け継がれてきた風俗、習慣、芸術などを大切に、それらを次代に
引き継いでいくということである。我が国や郷土の伝統と文化を大切
にする心は、過去から現在に至るまでに育まれた我が国や郷土の伝統
と文化に関心をもち、それらと現在の自分との関わりを理解する中か
ら芽生えてくるものである。それは、国や郷土を愛する心へとつなが
り、さらに、我が国が果たすべき役割と責任を自覚することにもつな
がるのである。

第6回定例理事会議事録

日時 2024年12月5日(木)11時~12時
議題

報告事項

- 1) 会計報告：別紙のとおり
- 2) 国際ロータリー為替レート：150円/\$
- 3) 2024-2025年12-2月例会予定：別紙のとおり
- 4) 年次総会日程の変更：12月12日開催
- 5) 事務局年末年始休暇予定
 - ・年末12月26日(ただし25日は休み)まで、年
始1月6日から勤務
- 6) こども音楽フェスティバル
 - ・合唱団は取りやめ
 - ・協賛金は概ね目標金額集まる見込み
 - ・実行委員会メンバー高木会員から石塚会員に
変更

審議事項

- 1) 年末家族例会への招待範囲
 - ・現米山奨学生、交換留学生及び両親、衛星ク
ラブ議長、ローターアクト会長・幹事は無料
(他は別紙のとおり)
- 2) 予算見通しと経費の課題・管理方針
 - ・個別予算枠を超えぬ様管理する
 - ・食事レベルを夏季並みに引き下げ、特別例会

ニコニコ

- 澤部様 本日はありがとうございました。
小林様 本日は2025年4月23日(水)晩餐会ホテルエミシア東京、4月24日(木)本会議立川ステージガーデンを開催する地区大会PRのために、クラブ訪問させて頂きました。多くのロータリアンのご参加を心よりお待ち申し上げております！
- 小林会員 ありがたく1歳年を重ねました。
石川会員 あと1年で古希です。誕生祝いありがとうございます。
宮部会員 先日米山功労者第10回メジャードナーの表彰を戴きました。ニコニコを忘れて失礼しました。
- 本日の合計額：23,000円
今年度ニコニコ累計額：227,000円
今年度指定ニコニコ累計額：11,000円



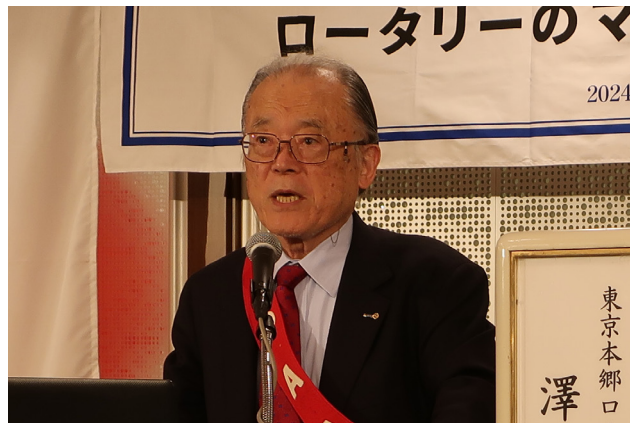
米山奨学生 楊夢様

社会奉仕フォーラム

2024年12月5日(木) 13:00~13:45

司会・進行 石塚 丈晴

0. 社会奉仕フォーラムの趣旨説明 (3分)
小泉 博明
1. 「未来にはばたけ！
青少年野球大会 in 東京ドーム」(15分)
東京本郷ロータリークラブ 澤部 利蔵
2. 第2580地区 ロータリー財団
地区補助金プロジェクト
「としまこども講談教室」(15分)
小泉 博明
3. ロータリーと社会奉仕 (10分)
鈴木 孝雄



ロータリーと社会奉仕について 鈴木PG

社会奉仕フォーラムでは、他クラブの社会奉仕活動を知るため、東日本大震災の被災地のこどもたちを招いて、東京ドームで青少年野球大会を開催した東京本郷ロータリークラブの活動報告に耳を傾けた。こどもたちは、目を輝かせプレーに夢中になっていた。

次に、本クラブの本年度のロータリー財団地区補助金プロジェクト「としまこども講談教室」の実践報告を行った。単なる学校行事という位置づけはなく、あくまでも「道徳科」の授業として実施し、日本の伝統文化、言語活動、道徳教育が三位一体となった授業内容となっている。

次に鈴木孝雄パストガバナーが、2つの実践報告を踏まえ、ロータリーの社会奉仕のあるべき姿について語り、総括をして締めくくった。

12月5日 卓話報告



卓話者 澤部利蔵様

東京本郷ロータリークラブの奉仕事業のなかで「未来へはばたけ！青少年野球大会 in 東京ドーム」についてお話しさせていただきます。今日の日を迎えるにあたって、何を伝えたら良いのか考えてみました。次の3つが重要なシーンだったと思います。

1. 被災地へ行ってみて⇒泣いた！
2. 何故、野球なのか？⇒チャーターの一言で団結力が強まった！
3. 子供達の笑顔⇒忘れないで欲しい、「一人じゃないよ！」

現地のロータリアンとの連携が難しかったので、私達は有志で直接現地に行ってみました。移動の途中、ビニールハウスで野球の練習をしている子供達に会いました。そんな子供達の中に女の子がいて、野球が好きなのか尋ねると「お兄ちゃんが津波で流されて帰ってきたのがお兄ちゃんのグローブだけだったから、代わりに野球をする。」言葉を失い涙が止まりませんでした。

会員の中には東京ドーム役員や関係している会社役員がいました。会員から、東京ドームで野球をさせてあげようよという声が大きくなっていきました。理事会でも承認され、実行委員会が立ち上がり近隣クラブからも賛同を得て準備を進めていく事になったのです。クラブフォーラムも議論が飛び交いました。「何故、野球なんだ！もっと他にすることがあるんじゃないか。」等々白熱すシーンもございました。あるチャーターメンバーの言葉が心に刺さり団結力が高まりました。「僕自身、野球はそんなに好きじゃないし、他にやることもあるかもしれない。でも仲間がやる！」

社会奉仕委員会報告



小泉博明社会奉仕委員長

社会奉仕フォーラム

2024年12月5日(木)

- 「としま緑の環境教室」プログラム 「豊島 緑の地図」富士見台小学校 ビオトープ → 蛍のタベ 環境教育・SDGs教育
- 「としまこどもカルタ」「としまこどもカルタ地図」読札・絵札を児童が作成 郷土学習
- 「としまこどもカルタ(デジタル版)」2580地区「意義ある奉仕賞受賞」
- 「としまこども講談教室」競争⇒共生 sympathy(同情)⇒empathy(共感)

と言うなら僕は応援したい」感動しました。ロータリアンって素敵だなと入会させてもらえて良かったなと感じた瞬間でした。

大会はこれまで大きな事故も無く多くの方や企業に支えられ子供達の笑顔に触れられ感動を共有させていただいてきました。子供達に伝わった良いなと思う事は、「一人じゃないよ、みんな繋がっているんだよ！」という事です。参加した子供達が成長していく段階や大人になった時に、どこかでつまずいたり、迷ったりして孤独を感じたりしたら、この大会を思い出して欲しい、記録誌に記載されている企業や多くの仲間がいる事を忘れないで欲しい。

今では、本事業を一般財団シミズオクトベースバールアカデミーが引継いで毎年計画をしてくださっています。東京本郷ロータリークラブは後援団体として携わっております。

私は、この思いを胸に今度は能登の子供達に会いに行く予定です。

東京池袋豊島東ロータリークラブ

第2580地区 ロータリー財団地区補助金プロジェクト
こどもたちのウェルビーイングを高める「講談」教育
「としまこども講談教室」実施状況

見て聴いて体験しよう！日本の伝統話芸 講談

講師 宝井 琴鶴(真打)

アシスタント 宝井 小琴(前座) 宝井 琴人(前座)

主催 東京池袋豊島東ロータリークラブ

東京池袋豊島東NEXTロータリー衛星クラブ

東京池袋豊島東ロータリーアクトクラブ



道徳教育について

- 「道徳科」の目標
小学校「特別の教科 道徳」「学習指導要領」
「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」
- 「道徳科」の内容
A主として自分自身に関すること
B主として人との関わりに関すること
C主として集団や社会との関わりに関すること
D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること